

今年度、むかわ町・北海道鶴川高等学校との包括連携協定に基づく連携プログラムに参加した学生と、2月からむかわ町の地域おこし協力隊インターン「ムカワカレッジ」に参加している学生が、地域の方との交流を通して、より一層地域課題への理解を深めることを目的として、むかわ町訪問学習を実施しました。

鶴川高校教員との  
意見交換会



連携事業の一つである鶴川高校の課題探究型学習「むかわ学」での取組を進めるにあたり、次年度の活動に向けての方向性や提言発表までに大学生にしてほしいサポート等について意見交換しました。

むかわ町若手職員  
との意見交換会



長谷川教育長、鶴川農協・むかわ町役場の若手職員の皆さんと「就職、UIターン、地域おこし」をテーマに意見交換。役場職員になろうと思ったきっかけやUターンに至った経緯などを伺いました。

小坂農園訪問



むかわ町観光協会長の小坂さんの農園を訪問し、意見交換。農家さんの1日のスケジュールや農作業での苦労などを伺ったあと、旬の野菜ニラのハウスを見学し、ハウスの構造や温度管理についてもヒアリングしました。

ぼぼんた市場視察



小坂さんとともに、特産物直売所のぼぼんた市場を視察。野菜やお米、その他加工品など、小坂農園で作られた商品やその他特産品が販売されている様子を確認しました。

竹中町長  
長谷川教育長と懇談



竹中町長、長谷川教育長と実際にむかわ町を見た印象や自分の出身地との違いなどについて意見交換。町長からは、連携から一歩先へ進み、協働の形を作っていけたらとのお話がありました。



復興応援ハウスやむかわ学の取組にも参加した  
経済学専攻1年 蛭名 舜さん

今回のプログラムで印象に残っているのは、JAむかわ職員の方、むかわ町役場職員の方との意見交換会です。「なぜむかわの職員を目指したのか」という質問に対し、職員の方は「胆振東部地震の影響が大きい」とおっしゃっていました。「当時助けてもらった町の方に恩返ししたい」この理由を聞いて、胸が熱くなりました。この方は、私と歳が近かったこともあり、より印象に残りました。

鶴川高校訪問、小坂農園見学、竹中町長との懇談。実際に行ってみないと分からない、むかわ町の魅力を肌で感じる事ができ、どれも有意義な時間でした。とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。また何らかの形でむかわ町に関われたらと思います。

2022年むかわ学の活動ではスマート農業班  
経営学専攻2年 小金澤 舜登さん

今回印象に残ったのは、小坂農園さんで見せていただいたニラのハウスでした。2022年に行ったむかわ学の活動では、鶴川高校の高校生と「スマート農業」についての提言をまとめました。その時は実際に作物がなっているところを見られませんでした。今回は見る事ができました。ハウス内は、メガネが一瞬で曇るほど暖かく、ニラのおいがしました。もし、ニラのハウスでスマート農業を活用するとしたら自動収穫かと一瞬考えましたが、費用や自動収穫する装置の設置場所の確保が難しいと感じました。実際に見ると思っていたことと異なっていることがあり、勉強になりました。スマート農業は効率的で利便性が良くなるものですが、環境によっては既存のものに導入するのが難しいものもあると感じました。今回見る事ができて良い経験になったと思っています。

また、竹中町長との懇談では、むかわ町について教えていただきながら、学生から見たむかわ町の印象などについてお話ししました。有意義な時間になりました。

今回の活動を通して、次年度の活動への意欲がますます湧いてきました。2/14(火)に四季の館で行われた、令和4年度「むかわ学Ⅰ・Ⅱ」まとめ発表会にも参加しましたが、2022年に関わった内容とは違うものが多くあり、興味深さまざまな発表がありました。その中で、具体化、軌道修正など必要だと思ふ箇所もありました。また、昨年よりもスケジュールが早く進む予定とのことだったので、高校生、先生方、地域の方々とさらに関わりあっていきたいと思っています。次年度取り組む際には、これらの点にも気を付けながら、昨年の経験を生かし、より良い提案を高校生と発案したいと思っています。

